

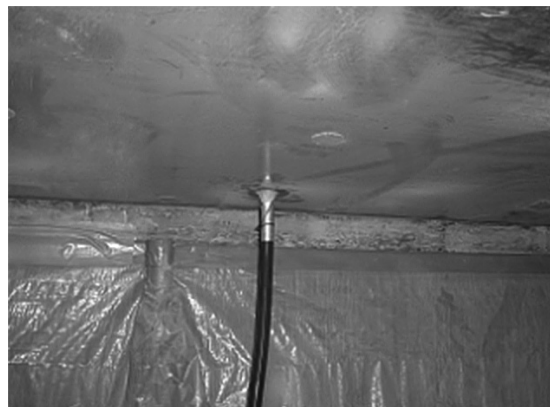
空隙充てん接着性に優れたエポキシ樹脂モルタル注入工法

ボンドRMグラウト工法

「ボンド RMグラウト工法」は、従来のエポキシ樹脂モルタルの流動性を改善した高流動化エポキシ樹脂モルタル注入工法です。

コンクリート構造物へ付設される鋼構造物取合部や機械基礎などの間隙、また、損傷を受けた土木構造物欠損部分の補修・補強時の注入施工に優れ、安定した充てん接着性能を発揮します。

従来工法では施工できない部位の補修・補強工事に対して、広範囲にわたる適用が可能です。



■用途

- コンクリート構造物に付設される鋼構造物取合部の間隙に対する充てん接着
 - ・高速道路高欄／遮音壁取付鋼材との充てん接着
 - ・機械基礎コンクリートと据付機械の空隙充てん接着
 - ・橋梁の増桁と床版の大きな空隙に対する充てん接着
- コンクリート構造物の大欠損部分、空隙に対する注入施工による断面復旧
- 水平度、平滑度、高強度を必要とする流し延べ不陸修正

■特長

- エポキシ樹脂モルタルの特性（体積収縮が少なく、高強度）を有しています。
- 流動性に優れ、グラウトポンプによる注入が可能です。
- 良好な充てん接着性を有しており、プライマーを塗布することなく躯体と一体化します。

■使用方法

- エポキシ樹脂を規定の配合比で計量・混合する。
- 骨材を規定量投入し、混合する。
- グラウトポンプ、または流し込みにより樹脂を注入する。
 - ※温度によっては骨材量を増減する必要があります。
 - ※低温環境下では増粘しますので、樹脂の加温などの処置が必要です。
 - ※環境温度や隙間の大きさによっては発熱する事があります。

■技術データ

1. 高流動化エポキシ樹脂モルタルの標準配合と適用温度域

品名	適用工法		適用温度域 (°C)							配合比(質量比)	
	注入	流し込み	5	10	15	20	25	30	35	樹脂	骨材
ボンド RM-205	○	○	←→							1	2
ボンド RM-206(W)※	○	○	←→							1	0.8
ボンド RM-2601(W)	○	○	←→							1	0.8
ボンド RM-206(S)	○	○			←→					1	1.5
ボンド RM-2601(S)	○	○			←→					1	1.5
ボンド RM-206(SS)	○	○					←→			1	2
ボンド RM-2300J(W)	×	○	←→							1	0.8
ボンド RM-2300J(S)	×	○			←→					1	1
ボンド RM-206(S)	×	○					←→			1	2
ボンド RM-2601(S)	×	○					←→			1	2

※「ボンド RM-206(W)」はJIS A 6024指定の現場仕様。冬用は通常「ボンド RM-205」を使用。

2. 標準配合における性状例

品名	混合粘度 (mPa·s)	可使用時間 (500g、分)	配合比(質量比)	
			樹脂	専用骨材
ボンド RM-205	8000±2000 (5°C)	300以上 (5°C)	1	2
ボンド RM-206(W)	12000±3000 (10°C)	60以上 (10°C)	1	0.8
ボンド RM-2601(W)	12000±3000 (10°C)	60以上 (10°C)	1	0.8
ボンド RM-206(S)	8000±2000 (20°C)	60以上 (20°C)	1	1.5
ボンド RM-2601(S)	8000±2000 (20°C)	60以上 (20°C)	1	1.5
ボンド RM-206(SS)	8000±2000 (30°C)	60以上 (30°C)	1	2
ボンド RM-2300J(W)	25000±10000 (5°C)	90以上 (5°C)	1	0.8
ボンド RM-2300J(S)	7000±2000 (20°C)	60以上 (20°C)	1	1
ボンド RM-206(S)	8000±2000 (30°C)	40以上 (30°C)	1	2
ボンド RM-2601(S)	8000±2000 (30°C)	40以上 (30°C)	1	2

3. 硬化樹脂の規格 (標準配合)

試験項目	規格値	試験条件	試験方法
圧縮降伏強さ (N/mm ²)	60以上	20°Cで7日間養生	JIS K 7208
引張強さ (N/mm ²)	20以上	20°Cで7日間養生	JIS K 7203
引張せん断接着強さ (N/mm ²)	10以上	20°Cで7日間養生	JIS K 6850

※1: 「ボンド RM-206(SS)」のみ20°C、14日養生。

※2: その他性状に関しては、仕様別データを参照ください。

国際単位系 (SI) による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa·s、1kgf·cm=9.8×10⁻²J、1MPa=1N/mm²です。1N/mm²は約10.2kgf/cm²に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社 <http://www.bond.co.jp/> 大阪本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 (北浜TNKビル) TEL06 (6228) 2961
東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3 (竹橋スクエア) TEL03 (5259) 5737

名古屋支店 TEL052 (217) 8624 札幌支店 TEL011 (731) 0351 高崎営業所 TEL027 (324) 3002 高松営業所 TEL087 (835) 2020
福岡支店 TEL092 (551) 1764 仙台営業所 TEL022 (211) 5031 金沢営業所 TEL076 (223) 1565 沖縄営業所 TEL098 (884) 7521
横浜支店 TEL045 (514) 2450 栃木営業所 TEL0285 (43) 1511 広島営業所 TEL082 (507) 1911